

**明日からできる
個別最適な学びと協働的な学び
【図画工作・美術】**

**主体的・対話的で深い学びの
実現に向けて**



東葛飾教育事務所
指導室

個別最適な学びと協働的な学びについては、主体的・対話的で深い学びの手段の一つです。

図工・美術の授業で、明日からすぐにできる個別最適な学びと協働的な学びの実践のヒントとして御覧ください。

「ほった線からはじまるお話」 小4

めあて

- ◎彫刻刀の使い方になれ、彫り方や刷り方を工夫する。
- ◎彫ってできた線の感じから想像を広げ、表したいことを考える。
- ◎彫刻刀で彫って、紙に刷ることを楽しむ。

1	2	3	4	5	6	7
見通しをもつ。 彫刻刀の使い方を知る。	色々な種類の彫刻刀で試し彫りする。	気に入った表現を見つける。 表現を試す。	版木を彫る。	版木を彫る。	版木を彫る。	鑑賞と振り返りをする。
協働	個	個＋ 協働	個	個	個	協働 ＋ 個

小学校4年生の題材「ほった線からはじまるお話」を設定しました。子供と共有したいことは、「ねらい」と「時間」と「活動内容」の3つです。7時間の活動を通してねらいを達成すること、試行錯誤を繰り返しながら作品を創り上げることが大切です。ここでは、個別と協働の場を下の欄に設けてみました。

図工や美術は、個別最適な学びや協働的な学びが実践しやすい教科です。このように意識すると、個の時間が多くありますが、時々協働の時間を設け、友達からのアドバイスや感想をもらうことでさらに自分のイメージや表現を深めたり豊かにすることができます。

個と協の往還により、学びが深まっていきます。

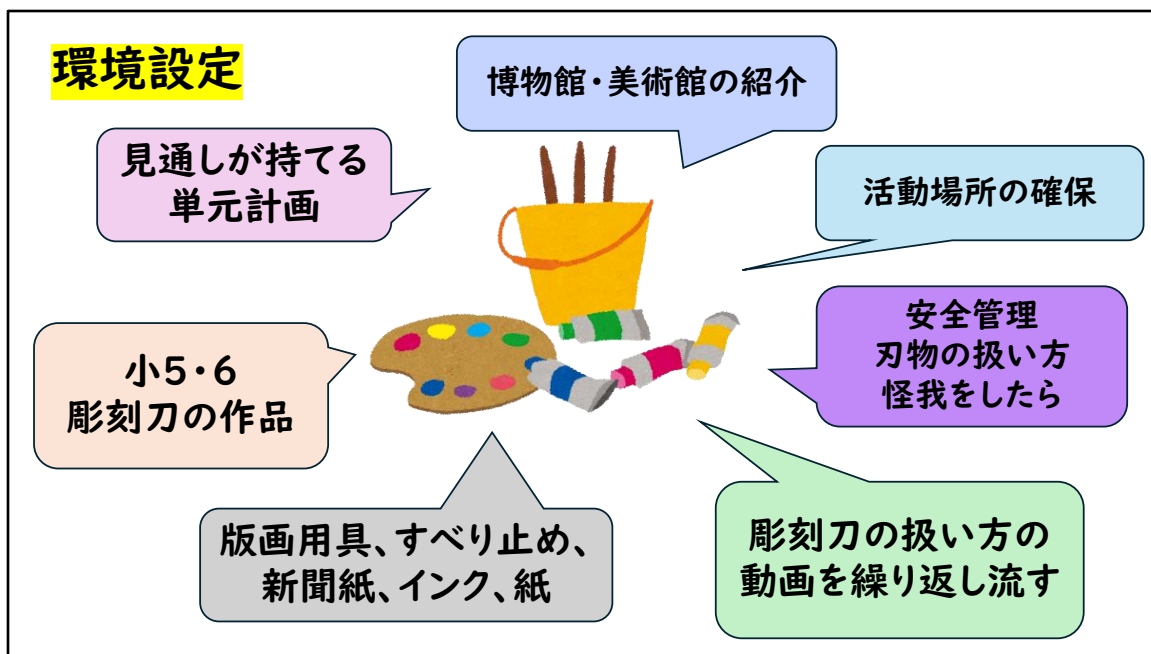
「ほった線からはじまるお話」 小4

単元始めに示し、
自己決定の場を
設定する。

自己決定の場 ルーブリック評価

	3	2	1
技能	彫刻刀を適切に扱い、表したいことに合わせて彫刻刀の種類や彫り方や刷り方などを試しながら、工夫して表す。	彫刻刀を適切に扱い、表したいことに合わせて彫刻刀や刷り方などを試しながら、工夫して表している。	彫刻刀や刷り方などを試しながら、表している。

もう一つ自己決定の場を設けてみました。こどもの成長を促すルーブリック評価です。ルーブルックは、評価の観点、達成レベル、評価基準を明確に示すことで、児童生徒は自分の課題や目標を理解しやすくなります。単元の始めに示し、自分が目指すレベルを決めると学習意欲の向上やさらなる成長を促すことができます。



図工の教室環境はどうでしょうか。安全な活動場所の確保はもちろんですが、彫刻刀の扱いについていつでも動画で見れるようテレビ等を使って繰り返し動画を流すのもいいですね。材料や用具はきれいに整頓されいつでも手に取ることができること、彫刻刀の作品などを掲示し見通しをもてるようにすることも大切です。身近な博物館や美術館の展示を紹介したり、生活と美術品との関わりについて考えたりすることも豊かな心を育成することに役立つと思います。

学習指導と生徒指導は両輪

生徒指導提要から

〇〇さんの彫刻
刀の持ち方は、ク
ラスの手本にな
るよ。

自己存在感の感受

みんなのために
削りかすを掃除
してくれてあり
がとう！

共感的な人間関係
の育成

この彫った線の
感じからどんな
お話が広がるか
なあ。

自己決定の場の
提供

この場所で思いっ
きり自由に制作せ
きる！ワクワクする
なあ！

安全・安心な風土
の醸成

安心して学べる環境には、生徒指導提要の4つの視点が欠かせません。自分の存在・よさが認められている自己存在感の感受については教師の言葉、友達と励まし合える共感的な人間関係の育成については教師の言葉、自己決定の場の提供については（個別最適な学びに通じる）児童の言葉、友達や教師から信頼されているという安全・安心な風土の醸成については児童の言葉を例にあげています。ピンク色が教師の言葉、黄色が児童の言葉です。これらを意識し、ぜひ明日から個別最適な学びと協働的な学びを取り入れた授業を実践してみてください。